

ひがし

通算第 97 号

2024.6.15 No.13

差別を生む ステレオタイプ

- ① 老人はパソコン、ITが苦手
- ② 日本人は真面目
- ③ 東北の人は素朴で我慢強い
- ④ 銀行員は眼鏡をかけている
- ⑤ 美大生は絵がうまい
- ⑥ 男の子は青、女の子はピンク

右の①～⑥は納得がいきますか？

これはステレオタイプの例として挙がっていたものです。

①などは、私自身が苦手なので納得しそうですが、世の中には「ITが得意な年配の方もたくさんいる」と思っています。

ステレオタイプというのは、多くの人が信じ込んでいる決めつけや思い込みのことを言います。

ステレオタイプは、人に対する見方が偏ったものとなります。自分の目で見た事実で判断せず、他の人が言ったことや偏った情報を信じ込み、差別や偏見を生むことになります。

克服するには？

○自分はステレオタイプにおちいりやすいという自覚をする。

○たくさんの人と交流し、いろいろな考えに触れる。

○一つの情報を信じ込むのではなくたくさん情報から判断する。

○自分がステレオタイプに当てはめられたら、どんな気分になるのか考えてみる。
だそうです。

九重町では、人権に関する学習会がたくさんあります。自分の考えを広めるために、参加されてはいかがでしょうか？

○人権を考える講演のタベ

7月30日(火)
18時30分～20時
文化センター

○部落差別問題

9月18日(水)
19時10分～20時30分
隣保館

○三地区合同学習会

10月10日(木)
19時10分～20時30分
文化センター

○医療をめぐる人権

11月20日(水)
19時20分～20時30分
隣保館

参加をお待ちしています。